

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 講師派遣事業報告
桜ヶ丘中央病院リハビリテーション科災害対策研修会
講師担当 (公社) 神奈川県理学療法士会災害対策委員会 西澤茂子

講師派遣事業として平成 28 年 7 月 14 日 (木) 大和市の医療法人社団哺育会桜ヶ丘中央病院リハビリテーション科主催の「災害対策」をテーマにした研修会に参加しました。

病院全体の取り組みだけではなく、今年度からリハビリテーション科としても災害対策に取り組まれるとの事で理学療法士、作業療法士、言語聴覚士合わせて 52 名と多くの方にご参加頂いたことから皆様
の関心の高さがうかがえました。内容は 1.災害概論 2.災害支援～セラピストの役割～3.神奈川県理学療法士会災害対策委員会の活動について講義を行いました。

災害リハビリテーション及び災害時におけるセラピストの役割については、セラピストの中でもまだまだ知られていないところが多いと思います。実際に災害現場での支援を経験した方となるとさらに限られた人数となり、災害時のセラピストの役割のイメージは付き難い現状があると思います。今回の参加者の中にも災害現場での支援活動経験のある方はいらっしゃいませんでした。講義では災害リハビリテーションの目的、支援活動でのセラピストの役割、災害フェーズ各期におけるセラピストの活動について熊本地震での委員 2 名の支援活動の様子も交えながらお話しをしました。

また、発災時の災害リハビリテーションだけではなく平時から行える活動として防災・減災の為の地域作り＝顔の見える関係性の構築についてお話しをしました。

桜ヶ丘中央病院リハビリテーション科でも大和市内の関連職種のネットワーク作り活動を行っているとのお話もあり、その中でもまた災害対策の研修を開催したいとの意欲的な言葉も聞かれました。



委員会の活動紹介の中でも地域防災をキーワードに県内における災害支援ネットワークの構築を目指した各種研修会の開催や、災害対策キャラバンを行っていること事も伝え、9 月 11 日開催予定の第 5 回災害対策研修会や県央ブロックキャラバン(秋開催予定)への参加を呼びかけました。質疑ではロジスティックス要員でなければ支援ができないのか？県士会独自の支援はできないのか？といった質問があがっていました。災害対策本部会議でも課題に上がった県士会主動での生活支援を中心とした活動を期待されていることが今回の研修を通して感じられました。講師として参加させて頂き、災害リハビリテーション活動の情報提供だけでなく、会員の要望や意見を聞くことができる良い機会となりました。